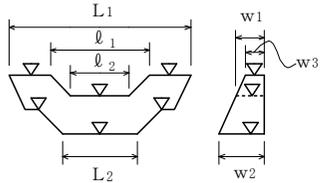
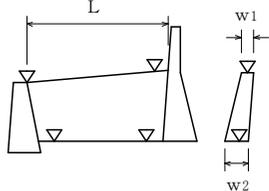


単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部	±3…… ℓ ≤ 10 ±4…… ℓ > 10	
						材		部材長 ℓ (m)
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	基 準 高 ▽	±30	
						天端部 堤 幅	w <sub>1</sub> , w <sub>3</sub> w <sub>2</sub>	-30
						水通しの幅 ℓ <sub>1</sub> , ℓ <sub>2</sub>	ℓ <sub>1</sub> , ℓ <sub>2</sub>	±50
						堤 長 L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub>	L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub>	-100
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	基 準 高 ▽	±30	
						幅	w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>	-30
						長 さ L	L	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所を測定。		
図面の表示箇所を測定。		
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点到直角な水平延長を測定。		

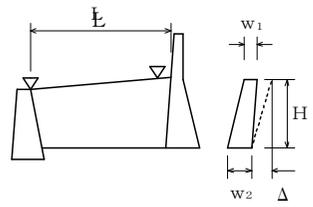
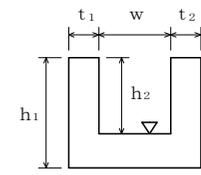
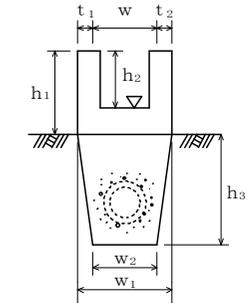
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	
						幅 w	-100	
						厚 さ t	-30	
						延 長 L	-100	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本體工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 $\nabla$	$\pm 50$
							長 さ $l_1, l_2$	$\pm 100$
							幅 $w_1, w_3$	$\pm 50$
							下流側倒れ $\Delta$	$\pm 0.02H_1$
						袖 部	袖 高 $\nabla$	$\pm 50$
							幅 $w_2$	$\pm 50$
							下流側倒れ $\Delta$	$\pm 0.02H_2$
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	2	鋼製堰堤本體工 (透過型)	堤長 L 格	$\pm 50$	
						堤長 $l$ 格・B・L	$\pm 10$	
						堤幅 W 格	$\pm 30$	
						堤幅 w 格・B・L	$\pm 10$	
						堤幅 w A	$\pm 5$	
						高さ H 格・B・L	$\pm 10$	
						高さ H A	$\pm 5$	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。</p>		
<p>1. 図面の表示箇所にて測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p>		
<p>(備考) 格：格子型钢製砂防ダム A：鋼製スリットダム A型 B：鋼製スリットダム B型 L：鋼製スリットダム L型</p>	<p>図 a 格子形鋼製砂防ダム 図 b 鋼製スリットダム A型 図 c 鋼製スリットダム B型 図 d 鋼製 L型スリットダム</p>	

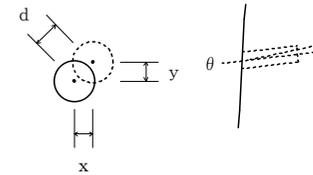
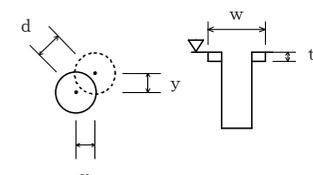
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鉄製堰堤工	6		鋼製側壁工	堤 高 $\nabla$	$\pm 50$	
						長 さ L	$\pm 100$	
						幅 $w_1, w_2$	$\pm 50$	
						下流側倒れ $\Delta$	$\pm 0.02H$	
						高さ h	$h < 3\text{m}$	-50
							$h \geq 3\text{m}$	-100
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	
						幅 w	-30	
						高さ $h_1, h_2$	-30	
						厚 さ $t_1, t_2$	-20	
						延 長 L	-200	
8 砂防編	3 斜面対策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	
						厚 さ $t_1, t_2$	-20	
						幅 w	-30	
						幅 $w_1, w_2$	-50	
						高さ $h_1, h_2$	-30	
						深 さ $h_3$	-30	
						延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。（なお製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による）</p>		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	4		集排水ボーリング工	削 孔 深 さ $\ell$	設計値以上
						配 置 誤 差 $d$	100
						せん孔方向 $\theta$	$\pm 2.5$ 度
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	5		集水井工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$
						偏 心 量 $d$	150
						長 さ $L$	-100
						巻 立 て 幅 $w$	-50
						巻立て厚さ $t$	-30
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	9 抑 止 杭 工	6		合成杭工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$
						偏 心 量 $d$	D/4 以内 かつ 100 以内

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。		